

## 「子どもは親を見て育つ」 ドロシー・ロー・ノルト博士

久慈市少年センター発行の「少年センターだより」  
(2012.11月発行号)に紹介されていました。

記事では、「子どもは親を手本にして育ちます。毎日の生活での親の姿こそが、子どもに最も影響力を持ちます。」と指摘し、子育てコンサルタントの第一人者、米国のドロシー博士の詩「子は親の鏡」を紹介しています。

親はもちろん、親を「大人」と読み替えても、参考になることの多い詩だと思えます。

### 「子は親の鏡」

- けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる
- とげとげした家庭に育つと、子どもは、乱暴になる
- 不安な気持ちで育てると、子どもも、不安になる
- 「かわいいそうな子だ」と言っていると、子どもは、みじめな気持ちになる
- 子どもを馬鹿にすると、引込みじあんな子になる
- 親が他人を羨んでばかりいると、子どもも、人を羨むようになる
- 叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう
- 励ましてあげれば、子どもは、自信を持つようになる
- 広い心で接すれば、キレる子にならない
- 誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ
- 愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ
- 認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる
- 見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる
- 分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ
- 親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る
- 子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ
- 優しく、思いやりをもって育てれば、子どもは、やさしい子に育つ